酸素吸入

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | 　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 酸素吸入 |
| 実施手順 | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。酸素ボンベ　酸素供給アタッチメント　パルスオキシメーター時計　ストップウォッチ |
| 準　備 | 1. 登校時の確認

・酸素ボンベの酸素残量を確認する。・流量設定ダイヤルの目盛りが＂０＂になっていることを確認する。・流量調整器の取り付けハンドルが緩んでいないか確認する。・保護者への連絡方法を確認する。・酸素吸入をしながら登校した場合は、園内（校内）に保護者待機を依頼する。1. 症状の観察をする。

・酸素飽和度（SpO₂）、口唇チアノーゼ、顔色不良・症状がみられた場合は、その時刻から計時する。・看護師に連絡する。・姿勢変換、吸引などを行い、酸素飽和度（SpO₂）の改善を試みる。・体温、脈拍、呼吸状態の確認をする。・本人の姿勢を整える。1. 酸素吸入の判断をする。

酸素飽和度（SpO₂）の値が10分以上持続して、93％以下の場合に酸素吸入となる。₂）1. 保護者に連絡し、酸素吸入の許可を得て来園（来校）を依頼する。

・園長、副園長（養護教諭、教頭）に連絡する。 | ・酸素ボンベは常時携帯する。・酸素ボンベの予備は職員室　に保管する。・看護師のみの実施となる。・保護者に状況を説明する。連絡がつかない場合は、実施（酸素吸入）しながら連絡をする。 |
| 実　施　 | 1. 本人に酸素吸入すること伝える。

酸素流量を（　）ℓ／分で開始する。・酸素ボンベの酸素残量を確認する。・酸素ボンベと酸素供給アタッチメントをつな　ぐ。・流量設定ダイヤルの目盛りが＂０＂になっていることを確認する。・ボンベの元栓をゆっくりと開く。・流量ダイアルの目盛りを、（　）に合わせる。・酸素供給アタッチメントを人工鼻に装着する。⑥　酸素飽和度（SpO₂）、脈拍、チアノーゼの有　　無、呼吸状態の観察をする。⑦　来校した保護者に状態を確認してもらい、　　その後の対応を判断する。・改善したので酸素吸入を終了する。・酸素吸入を継続し、保護者に園内（校内）待機してもらう。・保護者と一緒に帰宅する。 | ・火気厳禁とする。・手指消毒は剤は、引火の可能性があるので使用しない。・主治医の指示の流量にする。・チューブの折れ曲がりがないか確認する。　・状況が改善せず、保護者に連絡がつかない場合は緊急時対応（救急車搬送）をとりながら連絡をする。・酸素飽和度（SpO₂）、脈拍、チアノーゼの有無、呼吸状態を継続して観察をする。 |
| 終　了 | 1. 物品の後片付けをする。

⑨　連絡帳に記録する。 |  |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 状態が改善せず、保護者に連絡がつかない場合 | 保護者連絡継続 | 救急車搬送 |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）（父） | 　　　－　　　　－　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 　　　　　病院（小児科） | 　　　－　　　　－ |
| 救急搬送 | 状況が改善せず、保護者に連絡がつかない場合、救急車搬送する。 |
| その他 |  |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）